

企業と学生をつなぎ、意識を高める。 早期に進めるキャリア教育と支援

國學院大學

Kokugakuin University

スピード感が増す就活に対応 低年次からキャリア意識醸成

「就職活動は一人で戦わず、先輩や教職員を頼ること。そのための体制を整えています」。キャリアセンターの職員の声が響き渡るのは、2年次の12月に実施される就職ガイダンスだ。早期のイベントにもかかわらず、大教室は満席。就職活動の流れや準備すべきことを紹介し、「きちんと準備し努力した人が、良い結果を勝ち取っている」という、熱のこもったメッセージが投げかけられた。

「就職活動は一人で戦わず、先輩や教職員を頼ること。そのための体制を整えています」。キャリアセンターの職員の声が響き渡るのは、2年次の12月に実施される就職ガイダンスだ。早期のイベントにもかかわらず、大教室は満席。就職活動の流れや準備すべきことを紹介し、「きちんと準備し努力した人が、良い結果を勝ち取っている」という、熱のこもったメッセージが投げかけられた。

2年次向けの正課科目「ライフデザインII」では、プロジェクト型学習を進めるほか、内定者の就活体験談も交えて個々のキャリアを考える。大手IT企業から内定を得た4年生は「意欲に溢れる就活生が圧倒的に輝いて見えた」と率直な心情を交えながら語り、受講生たちはメモを取り聞き入っていた。

同大学が低年次のキャリア意識醸成に力を入れる理由は、就職活動のさらなる早期化にある。キャリアサポート課長の古澤繁氏は「特に鍵を握るのは3年次のインターンシップです」と話す。早い段階から企業に向くことで、学生自らが自身の適性や興味関心を探ることができ、夏のインターンシップ参加がきっかけで企業に対しての志望意欲が高まり、内定につながったケースも多く、昨今の就職活動のスピード感に対応できるメリットもある。

優良企業との太いパイプが 学生思いの「接点」を生む

「就労への意識とモチベーションを低年次から高めることが、ますます重要になっていきます。そこで本学では、就職活動や企業のリアルに触れる場を低年次から提供し、キャリア支援につなげていきます。それにより、働くことの楽しさや魅力が具体的に描けるようになり、目標を持って勉学や課外活動に精力的に取り組みむといった、学生生活がより充実する相乗効果もあります」。



(左上) 学内のキャリアサポート課には、毎年秋になると「内定者アドバイザー」が日替わりで常駐。IT・金融・商社といった人気業界を中心に内定を得た4年生約30名が、自身の体験をもとに学生目線のアドバイスなどを行っている。
(右上) 主に2年生を対象に行われた12月の「就職ガイダンス」。2年という早い段階での開催にもかかわらず、熱心に耳を傾ける学生が多く、就職活動の早期化は学生自身も実感しているようだ。
(左下) 「現場見学会」では、普段は目にするのできない現場の内部やバックヤードなどの見学を通じて、仕事への理解を深めていく。

企業が採用活動の開始時期を早める中、大学のキャリア支援の現場では、どのような取り組みが進んでいるのか。國學院大學学生事務部キャリアサポート課長の古澤繁氏に話を伺った。

取材・文／堤 亜紀子

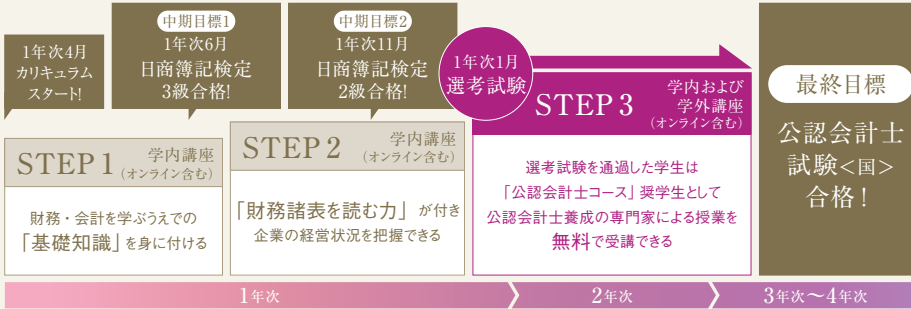
難関試験突破を4年間徹底サポート!

独自のキャリアプログラム K-PLAS[ケー・プラス]

▶ 将来を見据えた3コース 公務員合格コース 公認会計士コース 資格取得コース

無理なくモチベーションを継続できる独自の方式で、学生の目標達成をバックアップします。

■ 公認会計士コースの場合



K-PLAS受講生の声

公認会計士試験<国>に合格
(2025年度)



龍上英治さん

経済学部 経営学科 4年
監査法人アヴァンティア内定*

約4,000時間を学習に費やし、無事合格。卒業後はこの経験で培った主体性と粘り強さを活かし、クライアントと信頼関係を築き実務能力を磨きたいです。*2026年2月時点

5年連続で合格者輩出!

公認会計士試験<国>合格実績

2021~24年度 毎年現役合格者を輩出

2025年度 現役合格者 3名

12月に毎週実施されるセミナーには61社と4公務員組織が登場。こちらも1年次から参加が可能だ。同大学が特に力を入れるのが、BtoB企業の紹介である。BtoB業界には大規模事業を手掛ける世界的な優良企業がひしめく一方、学生には馴染みが薄い。そこで同セミナーでは、企業担当者にビジネスの醍醐味や最新動向を語ってもらうことで、学生の知的好奇心を喚起し、企業選びの視野を広げる。低年次の学生がより気軽に参加できるのが、働く人の熱量に触れる『現場見学会』だ。空港、鉄道、金融機関、建設現場、監査法人、官公庁など人気業界の現場に足を運ぶことで、モノの見方を限りなく社会に近づける。そして迎える3年次のインターンシップ。「二人あたり20社以上のオープンカンパニーやインターンシップ参加を呼び掛けています。優良企業から内定を得る学生ほど、参加数が多い傾向にあります」。充実したキャリア支援の屋台骨となっているのが、10年間かけて構築してきた企業との太いパイプだ。キャリア支援担当の職員が二社一社訪問して調べ、独自基準で絞った優良企業約200社を紹介するデータベース『企業大研究』を毎年発行し、2・3年生全員に配付。さらに年に

Information

國學院大學



1882(明治15)年創立。大学令により1920(大正9)年に大学に昇格し、私立大学として日本で最初に認可された8大学のうちの1つ。文・神道文化・法・経済学部の学生が4年間通う「渋谷キャンパス」は、渋谷の中でも閑静なエリアに位置し、最新の学修設備と研究施設を完備。人間開発・観光まちづくり学部の学生が4年間通う「横浜たまプラーザキャンパス」は、広大なグラウンドのほか、専門的な学修を支える特別教室や演習室を数多く備える。

● DATA

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

TEL 03-5466-0141 (入学課)

URL <https://www.kokugakuin.ac.jp/admission>

難関試験合格者を続々輩出 キャリアプログラム『K-PLAS』

二度、各社を訪問して豊富なコミュニケーションを交わし、築いたパイプをさらに強化している。「新しいオフィスのスツアールなどの企画は築き上げた良好な関係性から生まれており、その機会は以前より増えています」。

キャリア支援のもう一つの柱が、国家公務員総合職(キャリア官僚)と公認会計士という難関試験突破などをバックアップするプログラム『K-PLAS(ケー・プラス)』だ。どの試験も長期にわたる学修が欠かせないことから、独自の方式で受講生の

意欲を引き出す。こうして国家公務員総合職試験では、4年連続で内定者を輩出。公認会計士試験も5年連続で現役合格者を出す。「実績と共に支援体制の改良を重ね、ノウハウも蓄積してきました。受講生同士の繋がりが強化しており、好循環が生まれています」。

また、同大学では保護者との連携も重要視する。「若木育成会」では、全国で大学と保護者が懇談会を行い、就職活動の状況や支援内容を共有。教職員、内定者、卒業生、さらに私生活を支える保護者が就職活動のサポートに加わることで、学生への就職を後押ししている。

PR